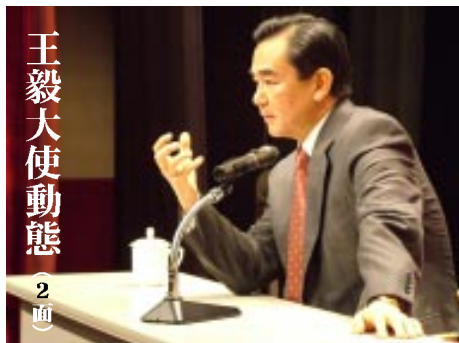


日本僑報

題字：人民日報前社長邵華澤先生

第82号 編集発行 / 日中交流研究所 編集長 / 段躍中
 日本 333-0866 川口市芝 5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
 ■http://duan.jp ■duan@duan.jp ■定価300円



中国人の日本語作文コンクール 同時開催 日本人の中国語作文コンクール



この度、私どもは、日中の相互理解をより深めるため、『日中交流研究所』を新たに設立する運びとなりました。そして、日中交流研究所は今年2005年、第一回「中国人の日本語作文コンクール」及び「日本人の中国語作文コンクール」を実施致します。

この二つの作文コンクールができるだけ長く

続き、日中の相互理解に役立つことができますよう、各方面のご支援、ご協力、多くの方のご参加をお願い申し上げます。詳しい応募要領については、第三、十六頁をご覧ください。

日中交流研究所による二つのコンクールの実施は、2004年に各方面から惜しまれつつ終了となってしまった国際交流研究所主催の「中国の大学生、院生・日本語作文コンク

ール」に敬意を表し、このコンクールの持つ精神と意義を継承したいということが端緒となっております。

長らく、中国で日本語を学ぶ学生たちの励みとなってきた「中国の大学生、院生・日本語作文コンクール」は、国際交流研究所の人森和夫(写真)・弘子夫妻が個人で続けてこられたものでしたが、大森所長の健康上の理由で、残念ながら2004年の第12回をもって終了となって

しまいました。

私は昨年12月、上海・華東師範大学で行なわれた最後の表彰式に参加しましたが、「中国の大学生、院生・日本語作文コンクール」が、中国において日本語を勉強する学生の日本語能力の向上と日本語理解に大きく寄与してきたことを痛感し、大変感動しました。

またこの時、逆に日本において中国語を勉強す

(二面へ続く)

元TBS北京支局長の著書『大陸逍遙』出版 元駐日大使宋之光、楊振亜両氏 本書に揮毫

日中記者交換40周年記念出版の三冊目として、岩城浩幸・TBS解説委員(元北京支局長)ご夫妻の初めての著書である『大陸逍遙一俳句と隨筆で綴る体験的中国』は、日本僑報社より刊行された。中国語版は同時に北京で出版された。詳しくは4面からの特集をご覧ください。なお、日中記者交換40周年の記念出版として刊行済みの二冊は、光明日報東京支局長陳志江氏の《從昭和到平成一駐日十五年報道文集》と元北京日報東京支局長王泰平氏(現日中友好会館中国代表理事)の『あのころの日本と中国一外交官特派員の回想』である。詳しくリストは6面。



(左の写真は、2004年9月30日夜、北京市内から生中継で「日中記者物語」を放送する岩城浩幸氏。TBSテレビより。段躍中撮影)

『二〇〇四年の中国情勢』刊行

新華社編集、中国通信社翻訳した「新世紀の中国情勢シリーズ」の四冊目として『二〇〇四年の中国情勢』が、3月に日本僑報社より刊行された。2004年の中国政治、外交、社会などの動向に関する文献資料を収録。総頁数1500頁。